

〈報道関係者各位〉

2016年 4月6日

大塚国際美術館



大塚国際美術館（館長：大塚一郎、所在地：徳島県鳴門市）では、6月～9月にかけて屋外展示：モネの「大睡蓮」の周りの池で睡蓮が開花し、名画とともに楽しめるベストシーズンを迎えます。

◆屋外展示：モネの「大睡蓮」

モネは43歳の時、フランスの田園地帯にあるジヴェルニーの家に移り住んで以来、様々な睡蓮の絵を屋外で描き続け、鋭い観察眼と表現方法でそのデリケートな変化の具合を描き分け200点を超える「睡蓮」を完成させました。そしてその集大成として晩年に描いた大作「睡蓮」を国家に寄贈、パリのオランジュリー美術館に現在の「大睡蓮」の部屋が完成したのは、画家が亡くなった翌年でした。二つの楕円形をつないだ形で展示された作品はモネの言葉通り、心静かな瞑想の場を与えてくれます。当館ではそのうちの1室を陶板で原寸大に再現しています。

◆モネの「大睡蓮」の見どころ

- モネの「自然光でみてほしい」という願いを実現すべく大塚国際美術館では陶板を活かして屋外に展示。自然光のもと間近で鑑賞できます。
- 朝の光、夕日、雨が降る日・・・など、時間帯や天候によって様々に変化する「睡蓮」を原寸大の迫力でご覧いただけます。
- 6月～9月にかけて、作品のまわりにモネが愛した色とりどりの睡蓮が花を咲かせ、名画とともに楽しめるベストシーズンです。
- 睡蓮に加え太鼓橋や柳、花菖蒲、藤棚といった日本を感じる木々や花々の彩りもこの時期は私たちの目を楽しませてくれます。また生垣の花々の育成は農薬を使わず自然の形態にも配慮しています。
- 隣接するカフェ・ド・ジヴェルニーでは「モネのパンケーキ」などアートメニューも。池を眺めるテラス席でお茶を楽しむ優雅な時間の過ごし方もおすすめです。



屋外展示：モネの「大睡蓮」



藤棚は5～6月頃に開花予定



鮮やかな青色の睡蓮

◆おすすめ！アートなメニュー



★モネランチ 1000円 ※4～9月限定

柔らかく玉ねぎのスイレン仕立て チキンパテと甘いブラウンソース
小さなタルトのキッシュを添えて

<場所> 1階レストラン・ガーデン

<時間> 11:00～15:30(ラストオーダー-15:00)



★モネのパンケーキ 800円 ※4月～

色とりどりのフルーツを使って、モネ作「睡蓮：緑のハーモニー」を
お皿の上に表現しました

<場所> B2階 カフェ・ド・ジヴェルニー

<時間> 10:30～16:00



★ゴッホのかき氷 600円 ※6～9月限定

ゴッホ作「麦藁帽子の自画像」をイメージしたかき氷。ゴッホが好き
だった「黄色」や「日本・和」を取り入れたオリジナルのかき氷です。

<場所> B2階 カフェ・ド・ジヴェルニー

<時間> 10:30～16:00

◆ミュージアムショップ：オリジナル名画缶



★モネ「睡蓮：二本の柳」クランチチョコレート 540円

モネの「大睡蓮」より、水面に浮かぶ睡蓮と枝垂れ柳が描かれた部分
をあしらった期間限定のオリジナル商品です。

<場所> B3階ミュージアムショップ

◆おすすめアートツアー：毎日開催！「定時ガイド」



美術ボランティアガイドが絵画をめぐりながら作品を紹介するツアーで
は、モネの「大睡蓮」もご案内します！

B3～B2階 (2時間) 9:40/10:00/10:30/13:00

人気ベスト10 (1時間) 11:00/13:30

<集合場所> B3階システィーナ・ホール (前方左側ベンチ)

◇ 大塚国際美術館とは ◇

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界25ヶ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。約4kmに及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システイーナ・ホール」の迫力は必見です。

◆陶板名画について◆

大塚国際美術館で展示している原寸大の陶板名画とは、大塚グループの大塚オーミ陶業(株)が開発した陶製の板(セラミックボード)に原画の写真を忠実に転写し、細部に至るまで幾度もレタッチを重ね、限りなくオリジナル作品に近づけることに成功した原寸大美術陶板のことです。最終仕上がりを考慮し、釉薬の決定、色分解、製版、転写などの各工程を経て、1300度の高温で焼成します。そのため、退色劣化することなく約2,000年以上にわたってそのままの色と姿で残り、美術書や教科書と違い原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができます。

大塚国際美術館

【住 所】徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【T E L】088-687-3737 【F A X】088-687-1117

【U R L】<http://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時(入館は16時まで)

【休 館 日】月曜日(祝日の場合は翌日)／その他、特別休館あり
*8月無休

【入 館 料】小中高生 540円 / 大学生 2,160円 / 一般 3,240円
*20名以上の団体は10%割引

【アクセス】

関東から



羽田空港～徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約30分
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から



高速バス 大阪/神戸など～「高速鳴門」2時間10分/1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約15分
路線バス JR徳島駅より約70分、JR鳴門駅より約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
神戸淡路鳴門自動車道 鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行



環境展示：「システイーナ・ホール」



《本件に関するお問合せ先》大塚国際美術館 学芸部広報担当
TEL:088-687-3737 FAX:088-687-1117

土橋加奈子、富澤京子、山側千紘
MAIL:info@o-museum.or.jp